

子どもへの暴力防止の 知識とスキルを学ぶ



子どもへの暴力防止 (CAP) プログラムを実践する専門家を養成します

CAP スペシャリスト養成研修 in 沖縄

基礎編

2021年 10月8日(金)・9日(土)・10日(日)

1日目 10:00~18:00 / 2日目 9:15~17:15 / 3日目 9:00~17:00 (計24時間)

沖縄県男女共同参画センターているる 2階・会議室 (那覇市西3-11-1)

*実践編は2021年12月4日(土)・5日(日)に開催予定です。(計16時間)

CAP とは、Child Assault Prevention (子どもへの暴力防止) の略で、子どもたちがいじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力といったさまざまな暴力から自分を守るための教育プログラムです。この CAP プログラムを実践する暴力防止の専門家 (CAP スペシャリスト) を養成する研修会を開催いたします。子どもへの虐待や暴力についての基礎的な知識やスキルを学ぶ研修会、子どもに関わる全てのおとな (親、教師、保育士、保健師、相談員、カウンセラー、児童福祉施設、児童相談所、行政職員…) 関心のある方はどなたでも受講できます。CAP の理解者として、また実践者として、共に子どもの人権が尊重される社会をつくる仲間になってください。

対象: CAP に関心のあるすべてのおとな (18 歳以上)

講師: J-CAPTA ディレクター 木村里美さん・矢島宏美さん

定員

15人

※J-CAPTA は CAP プログラムの使用に関する権限をもつ ICAP (International Center for Assault Prevention) から認可された日本の CAP トレーニングセンターです。

受講料: 4 万円 (基礎編 24,000 円・実践編 16,000 円) *テキスト代別途 4,200 円

申込み: 受講申込書に必要事項をご記入の上、**FAX** または **メール** でお申し込みください。

※先着順にて受付し、順次受講確定書をお送りします。定員になり次第締め切ります。

なお感染状況等によっては開催を延期する場合があります。



主催: 特定非営利活動法人 おきなわ CAP センター

問い合わせ・申込み TEL & FAX **098-975-9753** メール **okicap1996@gmail.com**

CAP スペシャリスト養成研修の内容

	オープニング・サークル	講座目的・グラドルール
基礎編 3日間 (計24時間)	講義Ⅰ 防止教育の思想と理論	1. 子ども虐待問題に関わる4つの分野 2. 子ども虐待への対応の歴史 3. 子どもの権利 4. エンパワメントの思想と方法 5. レイプのフェミニスト分析 ビデオ、「NOW I CAN TELL YOU MY SECRET」
	講義Ⅱ 子ども虐待問題の知っていなければならない基礎知識	1. 子ども虐待の分類 2. 児童虐待防止法 3. 沈黙の役割 4. 性的虐待の4つの前提条件 5. 性的虐待順応症候群 6. ドメスティック・バイオレンスと子ども
	講義Ⅲと練習・コーチ 子どもワークショップ	1. CAP 子どもワークショップの実演 2. 実施に関する留意事項 3. 練習・発表・コーチ
	講義Ⅳと練習・コーチ ワークショップ後のトークタイム	1. トークタイムの目的 2. トークタイムにおける防止スペシャリストの役割 3. クライシスカウンセリング（緊急相談）の方法と技術 4. 虐待、いじめを受けている子の示す兆候 5. 練習・発表・コーチ
	講義Ⅴ おとなワークショップのやり方	1. おとなワークショップの目的 2. おとなワークショップの流れ 3. おとなワークショップでの質問への対応
	講義Ⅵとクロージング・サークル	CAP の実践について、確認事項
実践編 2日間 (計16時間)	オープニング・サークル	CAP とわたし
	ゲスト講師による講義	「児童相談所の機能と役割、その権限」 ～虐待対応における市町村および学校との連携～
	おとなワークショップの実践	①打合せから振り返りまで②実施のポイント ③学校理解を深める④練習・発表・コーチ
	子どもワークショップの実践	①実施にあたっての留意事項②ファシリテーター、ロールプレイヤーの役割と実施のポイント③練習・発表・コーチ
	トークタイムの実践	①トークタイムの持ち方②トークタイムで出会った子どもたち③トークタイムのつなげ方④練習・発表・コーチ
	クロージング・サークル	今後のCAP活動に向けて、CAP スペシャリスト認定証授与

受講すると何ができるのか？

CAP スペシャリスト養成講座(5日間 計40時間)を修了すると、CAP スペシャリストの資格を認定いたします。CAP スペシャリストはCAPプログラムを実施することができます。

但し、その場合は「おきなわCAPセンター」に所属することが必要です。

CAP スペシャリストとして活動しない方は、基礎編のみの受講も可能です。



CAPプログラムについて

現在CAPは多くの保育園・幼稚園、小中学校、特別支援学校や児童養護施設等で実施されています。

子どもワークショップ

クラス単位で実施する子ども対象のプログラムです。年齢や障がいのニーズ等によってプログラムの内容や所要時間が違います。ロールプレイ（役割劇）を見たり、参加したり、ひとり一人の意見が尊重されて、暴力防止の具体的な方法を楽しく学びます。



おとなワークショップ

保護者や教職員、地域の人等、おとなを対象としたプログラムです。暴力についての正しい知識を得て、子どもの人権尊重とエンパワメントを柱とする支援のあり方について考えます。おとなワークショップは単独でも実施できますが、子どもワークショップを実施する際は事前に教職員ワークショップと保護者ワークショップが必要です。

CAPワークショップを受けた感想

ワークショップのあと、友達同士で相談に来る児童が増えました。「こんなこと…」と思う小さな事は、話さなくてもよいと思っていたらしく、ロールプレイを見て、話した方がよいと思ったと言っていました。担任と児童の関係も良好になりました。(教師)

こまっている時、こまっている人がいる時にキャップのことをおもいだして、元気をとりもどしたいです。おもしろかったです。また見たいです。

(小学生)

仕事、家事、育児に追われて、最近こどもの話をゆっくり聞けていなかったと実感させられました。後回しにせず、今日はこどもの話を全部聞いてあげることから自分なりのCAPを始めたいと思います。(保護者)

ぼくは今日暴力について勉強して、「いやだ」という言葉は本当に大切な言葉なんだと思いました。もし一人でなやんでいたら、周りの人や友だちに相談に乗ってもらうことが自分の身や心を守るためにとっても必要になるんだと思いました。

(小学生)

子どもの話にちゃんと耳を傾けているか、子どもの人権をちゃんと尊重できているか、改めて振り返ることができました。ついつい、先生という立場で、強い立場に立った目線、言葉になっていなかったかなと思いました。(教師)



※感染拡大防止への取り組み

- 体調に心配のある方、風邪症状のある方（同居家族含む）は、お休みください。
- マスクの着用、検温のご協力をお願いします。
- 密集・密接を防ぐために十分な広さの会場を確保し、人数制限をしています。
- 密閉を防ぐために、定期的に会場の換気をおこないます。
- アルコール消毒液・除菌シートを設置し、共用箇所は随時消毒します。
- お申込みの皆さまには、その他「感染拡大防止のお願い」をお送りいたします。

マスク



消毒



除菌



換気



